

平成 26 年度 第 1 回スポーツ医・科学委員会

平成 26 年 6 月 15 日（日）13:00 からサンセール盛岡で開催しました。

- 1 開会
 - 2 挨拶
 - 3 報告事項
 - (1) 第 71 回国民体育大会強化委員会経過概要について
 - (2) 平成 26 年度スポーツ健康科学サポート推進事業について
 - (3) 平成 26 年度いわてスーパーキッズ発掘・育成事業について
 - (4) いわて Jr.マルチサポートプランについて
 - (5) 平成 26 年度国体選手を中心としたドーピング防止・啓発事業について
 - (6) 第 71 回国民体育大会 指導者等の指定及び委嘱について
 - (7) 第 71 回国民体育大会特別強化選手・強化選手の指定について
 - (8) 日体協公認スポーツドクターに対するアンケート結果について
 - (9) 岩手スポーツデンティスト（仮称）養成について
 - (10) その他
 - 4 閉会
-

冒頭で、5月に着任した川口仁志（公財）岩手県体育協会副会長兼理事長より挨拶がありました。川口理事長からは、各競技団体では希望郷いわて国体に向けて選手強化や組織の体制づくりに努力いただいていること、県体協では岩手国体の成功につながるよう、平成 26 年度は日・韓・中ジュニアスポーツ交流競技会など選手にとって刺激となる大会が予定されている。選手にとっては過密スケジュールになってくるため、スポーツ現場ではコンディションの面からスポーツ医・科学専門家のサポートが強く望まれている状況であるとの話がありました。

報告事項では、71 国体に向けた選手強化事業や、今年度から実施されるいわて Jr.マルチサポートプランについて報告がありました。また、委員からドーピング防止・啓発事業について、国体選手以外へも実施してほしいという意見が出されました。その他、上記の報告事項について質疑が行われ閉会となりました。